

墨田区のお知らせ

NO.1891

2018年(平成30年) 5/21

毎月1日・11日・21日発行

- ◆2面以降の主な内容
- 2・3面・・・区功労者表彰 春の叙勲・褒章
- 3・4面・・・講座・教室・催し・募集
- 4面・・・すみだ食育フェス2018



すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) ☎5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

<http://www.city.sumida.lg.jp/>



ふるさと墨田を次代に引き継ぐ すみだ郷土文化資料館 開館20周年

大正ロマンを感じさせる、レトロ調のたたずまいで、墨田区の歴史や文化に関する貴重な資料を引き継いでいる「すみだ郷土文化資料館」は、平成10年に開館しました。開館20周年を迎える今年、江戸時代後期、隅田川で初めて川開大花火が開催された日にちなんで5月28日(月)から、特別展「隅田川花火の390年」を開催します。日本随一の技術書コレクションなど、貴重な資料を惜しげもなく公開します。

▼約50人もの地元ボランティアが、資料館の活動を支えています。毎月第2・第3日曜日午後1時から行っている展示解説に、ぜひ、お越しください。



▲墨田区は、東京空襲で大きな被害を受けました。東京空襲体験者が描いた絵を「空襲体験画キット」として、全国の皆さんに貸し出しています。

▼資料館の資料を地域で展示する「地域巡回展」は、昨年、お寺や学校、商業施設、ギャラリーなど15か所で開催し、大変な好評をいただきました。



5月28日(月)から

開館20周年記念 特別展「隅田川花火の390年」

Q. 隅田川で初めて花火を打ち上げたのはいつ？

江戸時代、寛永5年(1628年)のことです。浅草寺を訪れた天海という僧侶をもてなすために、花火を打ち上げたのが始まりと言われています。

どんな花火だったのだろう？

昔の人たちも、私たちがのように花火を楽しんだのかな？

Q. 隅田川の花火は、なぜ有名になったの？

隅田川の花火が有名になったことには、江戸時代の絵巻や浮世絵が大きく影響したようです。両国橋と一緒に描かれたことで、その名が知られるようになりました。

Q. 隅田川花火大会のはじまりは？

現在も続く隅田川花火大会は、昭和53年(1978年)に第1回が開催されました。それ以前にも、全国花火コンクールなどの大会が開かれていました。

どんな歴史を辿ってきたのだろう？

【とき】5月28日(月)～8月26日(日)の午前9時～午後5時

*入館は午後4時半まで *毎週月曜日(祝日のときは翌日)、第4火曜日は休館 *5月27日(日)までは臨時休館【ところ】すみだ郷土文化資料館(向島2-3-5)【入館料】▶個人=200円 ▶団体=160円 *中学生以下と身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料【申込み】期間中、直接会場へ【問合せ】すみだ郷土文化資料館 ☎5619-7034

★期間中、ご来館の方に「特製クリアホルダー」プレゼント！
*お一人様1点限り(なくなり次第終了)



特別展関連講座 *いずれも午後1時～2時半 *敬称略

【テーマ】南信州の煙火【とき】7月1日(日)【講師】櫻井弘人(飯田市美術博物館学芸員)

【テーマ】昭和の隅田川花火【とき】7月8日(日)【講師】河野晴行(公益社団法人日本煙火協会専務理事)

【テーマ】明治・大正期の隅田川花火【とき】7月22日(日)【講師】福澤徹三(すみだ郷土文化資料館学芸員)

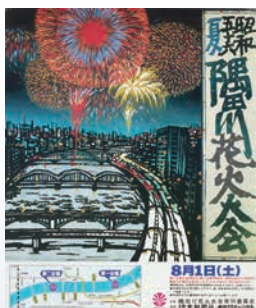
【ところ】すみだ郷土文化資料館(向島2-3-5)【定員】各日先着50人【費用】各日200～500円(入館料込み)【申込み】事前に電話で、すみだ郷土文化資料館 ☎5619-7034へ



南蛮流火術花火伝書 (1804年～1818年)



江戸八景両国橋の夕照 (1843年～1847年)



隅田川花火大会のポスター (1981年)

詳しくは、すみだ郷土文化資料館で！ご来館を、お待ちしております！！

